

牛込一中だより

新宿区立牛込第一中学校
令和2年度第9号

学校教育目標

人間尊重の精神を基盤として、国際的視野に立ち、心豊かな国民を育成する。

- 一 自ら考え、進んで実行する人 (自立)
- 二 思いやりのある情操豊かな人 (共生)
- 三 心身ともに健康で、明朗な人 (健康)

「誰か」のことじゃない。

校長 福田 忠春

タイトルの文言は、毎年12月に設定されている人権週間のポスターに掲げられているものです。世界人権宣言が国際連合総会において採択された12月10日の人権デーを最終日とする1週間(12/4~12/10)が人権週間です。人権尊重や人権感覚といったことについて、改めて確認する機会にしたいと思います。

「人権」という言葉を聞いたことのない人はいないでしょう。しかし、人権尊重とは何かと聞かれて即答することは難しいかもしれません。難しい言い回しの定義もありますが、簡単に言うと「**自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること**」です。

人権が守られていない出来事は、毎日のようにニュースで報道されています。いじめや児童虐待、障害のある人に対する差別や偏見、さまざまなハラスメント(嫌がらせ)行為などです。今年は特に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染者や医療従事者、またはその家族などが、差別や偏見に基づく問題に悩まされているとの報道を多く見聞きしました。「自粛警察」との言葉もありましたが、インターネット上で他人を誹謗中傷したり、個人の名誉やプライバシーを侵害したり、差別を助長するような情報を発信したりするといった悪質な行為が社会問題化しました。

なぜ、こうした問題が生じるのでしょうか。「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができなくなるのは、どのような場面なのでしょう。誰もが違いを認め合い、受け入れあう社会を作り上げるのは、「誰か」ではなく、私たち一人一人です。自分の身近な出来事、国内や海外の出来事を見聞きしたときに、人権の視点で考えてみてください。自分の中に、人権が守られている状態を望ましいと感じ、反対に侵害されている状態を許せないという感覚(「人権感覚」といいます)を高めていきたいと思います。

元気な挨拶をしていますか？

- 気持ちが前向きになる ⇒明るく声をかけられると、嬉しくならずにはられません
- 挨拶をする人への印象がよくなる ⇒素直に「いい人だ」と思わずにはられません
- 笑顔になるきっかけが生まれる ⇒挨拶の言葉は、口角を上げずに発することが出来ません
- 挨拶が出来る、常識がある人と認識される ⇒非常識な人に気持ちのよい挨拶は出来ません
- 道具も準備も不要で、誰にでもすぐ出来る ⇒気持ちさえあれば、他には何にもいりません
- 会話が始まるきっかけになる ⇒最初のひと言さえあれば、小細工はいりません

第1学年 地域調べ学習

第1学年は、11月6日（金）に学校の近隣地区を対象とした地域調べ学習をおこないました。身近な地域の文化や歴史、産業等について学ぶとともに、班行動を通して互いに協力し合いながら物事に取り組む力、社会規範等を身に付けることを目的に実施しました。

5つの班に分かれ、神社仏閣、文化人ゆかりの地等を2時間程度の徒歩で巡る計画を立て、当日に臨みました。道に迷い、計画変更を余儀なくされた班もありましたが、すべての班は、協力し合いながら学習の目的を達成できました。同行した小泉副校長先生からは、班員で相談しながら行動する様子を見て、1年生の“協力し合う力”の高まりを感じたとの感想をきいています。今回高めた集団としての力を次の取組に生かしてくれることを期待しています。



12月の主な予定

- 3日（木） 教育相談始
- 9日（水） 教育相談終（1・2年）
- 10日（木） 教育相談終（3年）
- 11日（金） 避難訓練
- 12日（土） 土曜授業
- 18日（金） 普通救命講習（2年）
ビーチボール大会（1・2年）
- 19日（土） 土曜授業
- 22日（火） 保護者会
- 23日（水） SPP授業（2年）
- 24日（木） 給食終・大掃除
- 25日（金） 終業式
- 26日（土） 冬季休業日始（1/7まで）

入賞おめでとう

<中学生の「税についての作文」>

優秀賞 3年 ○○ ○○

※12月2日、四谷税務署管内納税貯蓄組合連合会長他が来校され、校長室にて表彰していただきました。



<男子バスケットボール部>

新宿区新人大会 第3位

優秀選手賞 2年 ○○ ○○



“花植え ボランティア”

生徒会役員の声掛けで、多くの有志が集まりました。校舎が花いっぱいになりました。

